文中の（ ① ）～（ ⑰ ）にあてはまる語句を答えよ。

(1) 842年におこった藤原氏による他氏排斥事件である（ ① ）では、三筆の１人でもある（ ② ）が伊豆へ、伴健岑は隠岐へ配流となった。こののち、道康親王（順子の子、のちの文徳天皇）が皇太子となった。

(2) 866年の（ ③ ）で、伴善男が流罪となった。この事件の後、藤原冬嗣の子の（ ④ ）は正式に清和天皇の摂政に就任した。天皇の外祖父である彼は、すでに858年には実質上、臣下で初めての摂政の任をつとめはじめていた。

(3) 884年、（ ⑤ ）天皇即位にあたって、太政大臣（ ⑥ ）を実質上の関白に任命し、彼を優遇した。彼は887年に宇多天皇から関白の詔をうけたが、この時（ ⑦ ）と呼ばれる示威事件をおこし、詔の起草者の（ ⑧ ）を咎めた。

(4) 藤原氏を外戚としない宇多天皇は、有名な学者である（ ⑨ ）を右大臣にして、藤原氏と対抗させようとした。遣唐使廃止の建議がなされたのは、この頃のことである。以後、文化の国風化が進んでいった。

(5) 続く（ ⑩ ）天皇とその後の（ ⑪ ）天皇も親政を行った。平安中期のこの時代は、後世、天皇政治の理想とされた。二人の天皇の年号をとって、（ ⑫ ）と呼ぶ。

(6) 969年（ ⑬ ）がおこり、（ ⑭ ）が大宰府に左遷させられ、藤原北家の勢力は不動のものとなった。摂関は常置となり、北家は摂政・関白をだす家柄である（ ⑮ ）として位置付けられた。

(7) 10世紀後半から11世紀にかけての政治は（ ⑯ ）と呼ばれ、摂政や関白が天皇の後見役をつとめた。後見役の資格としては、天皇の（ ⑰ ）、つまり母方の親戚であることが重要視された。当時は招婿婚が普通だったからである。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	
⑯	
⑰	